



HIDE & SEEK

THE BASKET BALL WORK
RECORD PLATE #025
DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI

LOVE SICKNESS

DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI
THE BASKET BALL WORK
RECORD PLATE #025
DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI



THE BASKET BALL WORK
RECORD PLATE #025
DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI



THE BASKET BALL WORK
RECORD PLATE #025
DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI



ALL WORKS AND PRESENTED BY
KAWASUMI DESIGN
MAMA 2015

恋するイヤープラグ

THE BASKET BALL WORK
RECORD PLATE #025
DAIKI AOKI * TAIKA KAGAMI



Sel'ge Liebe auf den Mund, Ubrall sonst die Raserei!!



ずっと探していた
限定モデル(バツシユ)を
ネットで見つけて
通販したら、



注文した
覚えのないもの
がいつしよに
入っていた。



なんだこりゃ?
耳栓?

オマケ?



：ちよつと何
言ってるか

わかんねーな。

どーせならもつと
使えるモン
オマケしろよなー!



大ちゃんいるー!?

ちよ、

さつき、
窓から入ってくるの
やめろっつてん
だろ!!
あ、あーだわ!!

あつ大ちゃん
また変な物
買ってる!

からっ

説明書?



※御注意
上の御注意

この耳栓は他人の声
が聞こえます。
用法をお間違えのない様
十分ご注意下さい。



ニムシキ...





よお
火神!!



「あれ?」
「...よお?」

「今日来る約束
してたか?」

恋するイヤー プラダ

THE BASKETBALL WHICH KUROKO PLAYS#025th
NANA©2011 ALL WORKS AND CREATED BY KAORUKO SHINAGAWA

Sei'ge Liebe auf den Mund, M LOVE EARPLINGS
Überall sonst die Kaserell:!



んもー
大ちゃんのかあ
つう!!

火神
火神
火神



おお
聞こえる!!

?

どうした?
なんか
急用か?



…や、
えーっと、急に顔
見たくなった?
つつか…?



ふーん?

「な、なんだよ顔見たいって」
「びっくりした」

まあ
いいけど。
「でも
うれしい
かも」



「あーくそ
顔熱くなってきた」

これは想像
以上にやべえ…!!!



俺これから
夕メシ作るけど
おまえも食う?

「このあいだ
カレー食いたって
言ってたよな」



えっ?
あ、
おう。
覚えて
たのか…

カレーで
いいか?

「材料は…
足りるな」



「青峰用の甘口の
ルーも買い置きあるし」

「そうだ
冷凍しといたハンバーグも
付けてやろう」

青峰?

ふまふま…





「青峰の
おかげで
メシ作るの
楽しく
なった」

「てりやきの味
もうすこし甘い方が
青峰好きかな？」

「そうだ
新しいレシピ
見つけたから
次はからあげ
作ろう」

「やっぱり
ひとりで食うより
美味しい気がする」

「青峰がいつ来ても平気なように
またハンバーグ作り置きしよう」

「カレーの
レパートリーも
増やしてえな」

「よかった
美味くできてる」

頭の中に
直接

響いてくる
火神の声は、

…火神、

ん？

「なんだ？」

いつもより
少し甘くて。

いつもメシ
作ってくれて
ありがとな。

「え」

大ちゃんやっぱり
かがみん家に
いるのね!?

明日登校日なの
忘れてるでしょ!?

※春休み中。

ちよつと名残りの
おいしいけど—

—で、
んん?
とれねえぞ?
両耳とも!?

青峰

フロ
あいたぞ—!

「あれ?」

「なんでコート
着てんだ?」

「……帰るのか?」

「もしかして」

んもう!!
ちゃんと制服
着て行かないと
出席にならない
からね!!

あー
そういや
そうだったか
……………?
めいこそ…

ちッ
しゃーねえ
帰るか…

「会いに来てくれて
ちよつと浮かれてた」

忘れもの
すんなよ？

「バカだ」

—そうか、
気を付けて
帰れよ。

「勝手に泊まるんだって
かんちがいしてた」

「帰っちまうのか」

あ…
おう…

ちよつと用
できちまった…

「さみしい」

青峰？

「そっぴや
今日
1回もキス
してねえや」

「次いつ会えるんだっけ？」

「大丈夫
慣れてる」

終電
なくなるぞ？

「さみしい」

「ひきとめたい」

どした？
青峰？

ん？

「さみしい」

「ああ

だめだ

青峰にはちゃんと家族が待つてる
家があるんだから」

「さみしい」

「大丈夫
さみしくない」

「大丈夫」

…火神、

ん？

「さみしい」

「帰らないで
ほしい」

帰らない。

「え？」

「なんで？」

え？

青峰？

「やべえ、もしかして
帰ってほしくねえの
顔に出てたか？」

「くそ、
ダメだな
俺」

用事
あんじゃ
ねえのか？

青峰？

「でも」

火神、

おまえは
いつも

「どうして？」

本当は、
さみしかったのか？

「さみしい」

「うれしい」

いつも

そんな思いを
しながら俺を
見送ってたのか？

いつもなら
俺のこと
さみしいか

いつもは
わかんねえ
だろ

俺もあんなも
バカなんだろ



「やだ」

「はなれんな」

「もっしゅ」

「…あおみね」

「もっしゅ」

「うたー」



「もっしゅうたー」

「もっしゅ」

「もっしゅ」

「うたー」



「青峰の味」

「おうー」

「もっしゅ」

「ひえええ」

「もっしゅ」

「青峰」



「あおみね」

「おれ」

「うたー」

「もっしゅ」

「もっしゅうたー」

「おれ」

「ひえええ…」

「ひえええ…」

「?」
青峰
顔真っ赤」

赤くも
なるわ

「かわいい」

かわいいのは
おまえだっつこの

「あ」

「まだなにもして
ねえのにうしろ」

「あ だめ」

「もう青峰の
入れてほしい」

「青峰ので中ぐちゃぐちゃ
してほしい」

「あおみね」

「ほっ」

「あおみねの
ほしい」

「すげえ…」

「あおみね」

「すき」

「あおみね」

俺いつもこんな
欲しがられ
てんのかよ…

「はやく」

抱けよ」

あたま

おかしく
なりそ…

「た...♡」

「あおみね...♡」

「あおみね
はせへ...♡」

「はせへ♡」

「はせへ青峰のど
きもちよく
なりたい...♡」

「たまんね...」

「かがみ、
入れるぞ？」

「入って♡、
きた♡」

「吸っしゅちゅの
はせか♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」

「はせへ♡」



「あおみね♡♡♡♡♡」

「あおみね♡♡♡♡♡」

「あおみね♡♡♡♡♡」

「あおみね♡」

「だめ♡」

「あおみね♡♡♡♡♡」

「あおみね♡」

「あおみね♡♡♡♡♡」

「あおみね♡」

「あおみね♡」

「青峰ので
広がってる…♡
きもちい…♡」



「あおみね
おっきくなるとはいいな」



「きもちいい
のかな？」

「おれの中
きもちよければいいな」

「あおみねも
おれできもちよくなつて
ほしい」



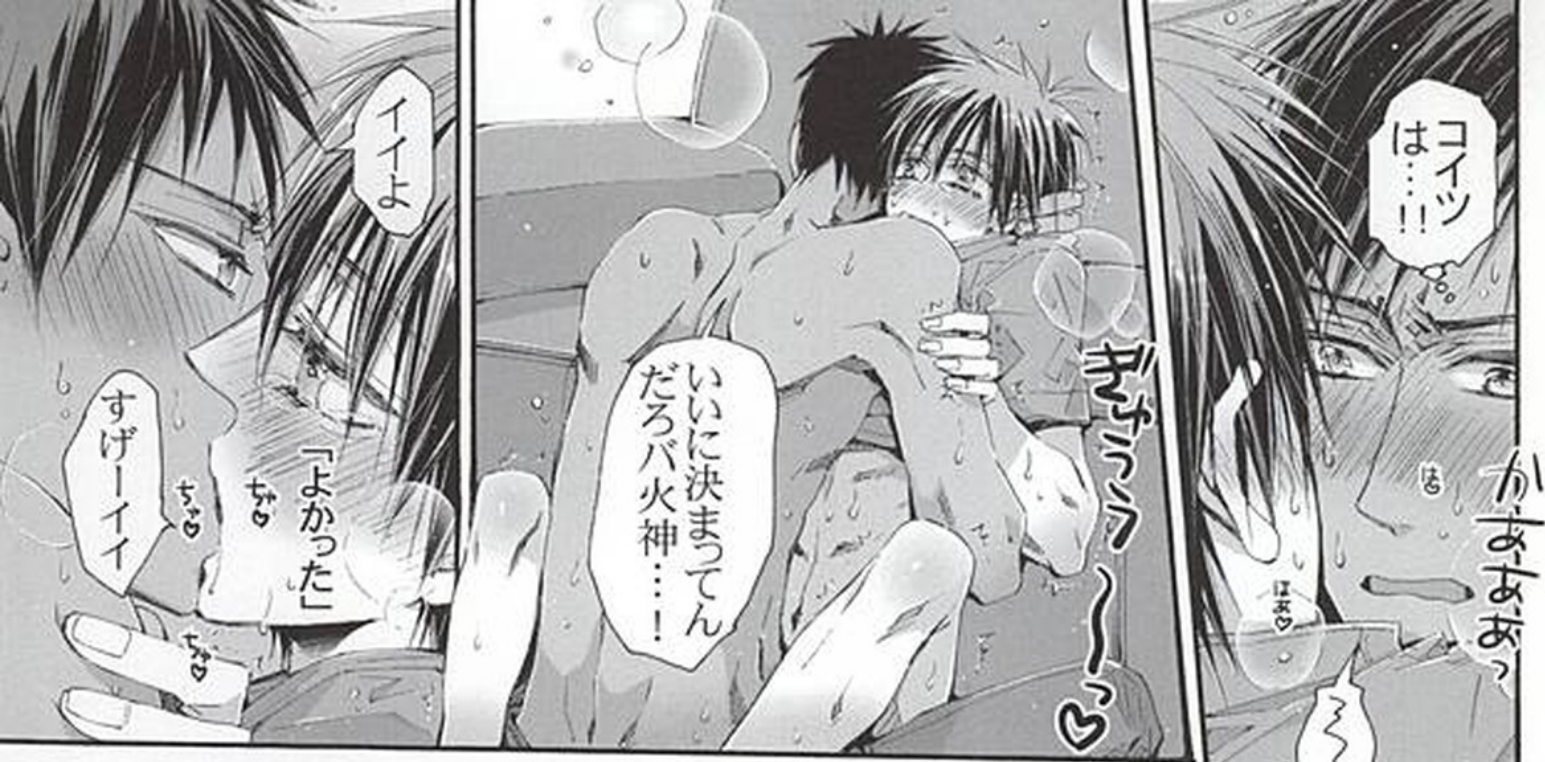
「あおみねのきもちも
よれそうだな顔
好き」



「...あおみね」

「おれのからだ」

「きもちいいか...？」



しあわせで

しーんそう...





♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

「おつかい♡」

「おつかい♡」

「また♡」

「また♡」

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

「おつかい♡」

「おつかい♡」

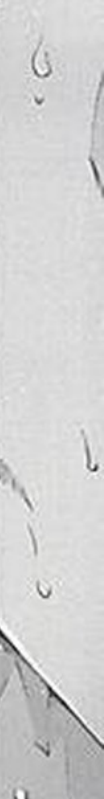
「おつかい♡」

「おつかい♡」

「おつかい♡」

「おつかい♡」





「いつもより
やさしい気がする……?」

「うーん青峰わりと
いつもやさしいしなあ……」

「そういうとこすげー
好きだけど」

「でも今日は
さらについて
いうか……??」

「うーん……
……
……」

「ま、いつか」

「それより」

「あんなに
「おつかい」

「おまえまだ
おつきいし」

「とりあえず
もつかいする?」

「ていつか」

「俺が青峰ともっと
セックスしたいんだけど」

「LOK」

「死ぬ……!!!」

「……
……
……」

「ん」

11:00PM
Kaito
さんへ
♡♡♡♡♡





火神が俺のことを
好きで、おどろいた。



ほら、シート
洗うんだから
とっとと行け!!



ったく

ホント
寝おき
ワリーな

ん?...



か青

あ、青峰
起きたか?

もうすぐ朝メシ
出来るから先に
シャワー浴びてこいよ。



……どう
すっかなー

これ……

火神の考える事
わかんのはいー
んだけど、
あんなすげーのずっと
聞いてたらこっちの心臓が
もたねえわ……



※御注意の上の用上

この耳栓は他人の心の声
が聞こえます。
用法をお間違えのない様
十分ご注意ください。

...こころの音が
聞こえます...?



A hand is shown holding a hairbrush to a character's long, dark hair. The hair is rendered with fine, dark lines, and the hand is shown in a light grey tone. The background is plain white.

ふーん……？

THE BASKET BALL WHICH KUROKO PLAYS
DAIKI AOMINE • TAIGA KAGAMI
ALL RIGHTS RESERVED © 2012 SHUEI
LOVE IS ROCKNESS
♡♡♡

FOR MATURE READERS
OVER AGE OF 18

*mind and body
for a day just by without my fantasy
I wanna be with you
I just wanna be with you
Never know how much I love you?*

恋する
イヤークラフ

In
Love Earplugs

THE BASKET BALL WHICH KUROKO PLAYS 025
DAIKI AOMINE • TAIGA KAGAMI
ALL RIGHTS RESERVED © 2012 SHUEI



完全版
DATE OF ISSUE
2015/05/04

2015年5月4日発行
2015年5月4日発行
2015年5月4日発行
LOVEESTORNGNESS
♡♡♡

FOR MATURE READERS
OVER AGE OF 18

恋する
イヤークラフ

mind and body
for a day just by with me my fantasy.
I wanna be with you
I just wanna be with you.
Please love me and I love you!

In
LoveEerPlugs
THE BASKET BALL WHICH KUROKO PLAYS#025
DAIKI AOMINE*TAIGA KAGAMI
ALL WORKS AND ILLUSTRATED BY KAGURO SHINAGAWA
♡♡♡





HIDE & SEEK

THE BASKET BALL WHICH KIBIKO PLAYS #125

LOVE STOCKINGS

DAIRI KOMIYAMA
TAIGA RAAGAMI
MAYUKA Raoruka. S



ALL WORDS AND
CONCEPTS BY
MAYUKA RAORUKA



THE BASKET BALL WHICH
KIBIKO PLAYS #125
DAIRI KOMIYAMA
TAIGA RAAGAMI
MAYUKA RAORUKA



THE BASKET BALL WHICH
KIBIKO PLAYS #125
DAIRI KOMIYAMA
TAIGA RAAGAMI
MAYUKA RAORUKA



ALL WORKS AND PRESENTED BY
DAIRI KOMIYAMA
MAYUKA RAORUKA

恋するイヤープラグ

THE BASKET BALL WHICH
KIBIKO PLAYS #125
DAIRI KOMIYAMA TAIGA RAAGAMI



Sel'ge Liebe auf den Mund, Ubrall sonst die Raserei!!

